

Q.

## 今後の米国社債利回りの見通しは？

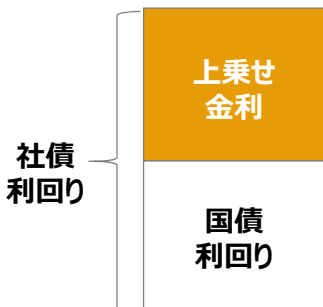
A.

国債利回りはやや低下するも、上乗せ金利が横ばいからやや上昇すると見込まれることから、魅力的な利回り水準が継続すると考えられます。

- FRB（米連邦準備制度理事会）は2023年7月に利上げを実施しましたが、高い水準の物価に対応するため年内に追加利上げをする可能性があります。ただし、2024年にはこれまでの利上げの効果などから景気が緩やかに減速し、金利も緩やかに低下すると見込まれます。
- また、緩やかな景気減速となった場合でも、米国社債の上乗せ金利は安定的に推移した後、緩やかに拡大すると見込まれます。そのため、魅力的な利回り水準が継続すると考えられます。

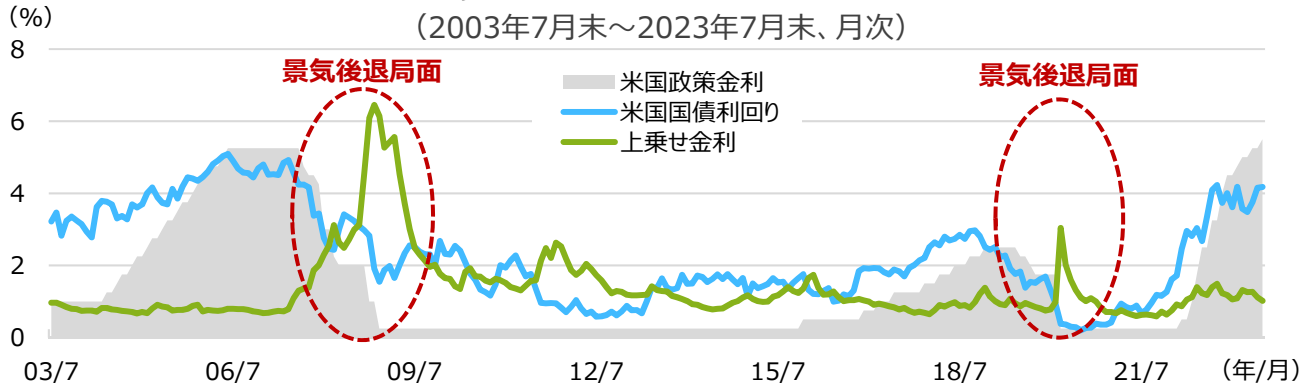
### 過去の上乗せ金利の推移について

#### 社債利回りのイメージ



- 社債利回りは、原則として国債利回りに上乗せ金利をプラスした利回りで行われます。
- 通常、景気後退局面などではデフォルトリスクが高まることなどから、上乗せ金利水準が上昇すると考えられます。一方、国債利回りは各国・地域の政策金利に連動する傾向にあることから、景気後退などによる政策金利引下げ局面では利回り水準が低下する傾向にあります。
- 過去の推移をみると、国債利回りが低下（上昇）する局面では上乗せ金利が上昇（低下）する傾向にあります。そのため、緩やかな景気減速などが予想される場合は、社債へ投資することで上乗せ金利の拡大が期待されます。

#### <米国国債利回り、上乗せ金利および米国政策金利の推移>



(注) 米国国債利回りは米国国債利回り（5年）、上乗せ金利はICE BofA 米国投資適格社債（3-5年）インデックスのオプション調整後スプレッド、米国政策金利はFederal Funds Rate誘導目標上限。

(出所) ICE Data Indices, LLC, Bloomberg, Factsetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境を示唆あるいは保証するものではありません。  
※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。